

2024 年度 行動文化論ゼミ旅行報告書

人間文化学科心理・人間科学メジャーの行動文化論ゼミは、特定の地域に赴いて実際に自分の足で歩いて、見て、感じ、考えることを目的に、今年度のゼミ旅行を福島県いわき市で実施しました。2 日間の活動を通して、市内の歴史・文化・産業遺産を訪ねることによって見聞を広め、水族館や自然公園で地域の生きものの多様性や環境問題への認識を深めるなど、いわき地域の様々な側面を体感し、学ぶことができました。

○概要

ゼミ：行動文化論ゼミ

参加者：ゼミ生 12 人（3 年生 6 人、4 年生 6 人）

日付：2024 年 9 月 9 日、10 日

行程：

9 月 9 日

10：05 水戸駅発

11：43 いわき駅着

12：00～ 班ごとに分かれて活動

A 班 徒歩で内郷地域をめぐる班：白水阿弥陀堂、みろく沢炭鉱資料館など

B 班 市内街歩きをする班：いわき公園など

19：00 夕食

22：45 宿着

9 月 10 日

10：00 各自自由行動（温泉に入る、外に出る）

12：14 泉駅集合、発

13：16 アクアマリンふくしま着

15：56 アクアマリンふくしま発

16：24 湯本駅着

17：05 湯本駅発

18：32 水戸駅着、解散

○学生幹事 2 人の感想

A 班

私は 1 日目にいわき市内郷を出発し、班で約 3 時間かけて 5 つの場所をめぐる。最初の目的地であった相撲場跡は、道に迷ったり坂を上ったりと大変な道のりであったにもかかわらず、見つけることが出来なかった。しかし、次の目的地である清光院に到着すると、親切な管理人の方々がその相撲場跡への生き方や地域の歴史を教えてくださいました。地図を見ながら自力で目指すのもわくわくするが、時間が限られる際には地元の人に聞くのが良いと思った。その後は国宝である白水阿弥陀堂を拝観した。夕方では人が少なく、道路が通っている場所より少し奥にあるため、静かであった。写真で見ると堂内が真っ暗に見えるが(写真 3)、入ってみると大きな仏像たちが安置されており、柱などに施された模様も美しく、迫力があつた。また、その正面で正座をしながら歴史についてのお話を聞く時間は貴重であり、暑いのにすがすがしい気持ちになった。

その後常磐神社に行き、最後にみろく沢炭鉱資料館に行った。資料館は長い坂を上った先にあり、実際に炭鉱で働いていた方がボランティアで運営していた。当時の写真や道具などがたくさん残っていて驚いた。清光院の方に相撲場について尋ねた際に、相撲は炭鉱夫の方々の娯楽だったと教わったのだが、実際に資料館を訪れて炭鉱で働くことの大変さを知ると、命がけで働いた人々にとってそれがどれだけ楽しいものだったのか想像できた。ほかにも、資料館内の見学のみでなく、炭鉱夫の方々が実際に安全を祈っていたというところまでのぼったり(写真 4)、カンテラに火をつける様子やトロッコが動く様子を実際に見せていただいた。本物の石炭をいただいたりもした。また、資料館で紹介していただいた動画を後日見てみると、石炭を常磐線で運搬していたという話があつた。普段から利用しており、まさに今回水戸からいわきに行くのに利用したのが常磐線だったため、自分ではなく石炭が移動している場面を想像して不思議な気持ちになった。

2 日目は全員でアクアマリンふくしまに行った。個人的に海の生き物に興味があるためとても楽しみにしていた。大洗のアクアワールドは入ってすぐに様々な海の生き物たちがいるのだが、アクアマリンふくしまは陸上の生き物を見るゾーンから始まっていて驚いた。また、生き物たちだけでなく、環境問題に関する展示もあつた。特に実際の砂浜を再現した部分が印象的であつた(写真 5)。大洗のアクアワールド以外の水族館に行ったのは初めてで、展示の仕方など別の魅力があつて面白いと思ったため、他の地域の水族館にもたくさん行きたいと思った。

2 日間にわたって、いわき市内だけで様々なことを学び、楽しむことが出来た。1 日目のような徒歩のみで様々な場所に行くというのは普段の旅行では考えられないことであるため、新鮮で楽しかった。最後に、今回は計画に不十分だった点があつたものの、石井先

生やゼミの皆さんのおかげで無事に終えることができたため、多くの感謝を伝えたい。



写真1 白水阿弥陀堂



写真2

みろく沢炭鉱資料館にて



写真3 実際の砂浜の再

B班

私たちは、1日目にいわき市周辺、2日目にアクアマリンふくしまを見学した。1日目のいわき市周辺では、私の班はいわき公園の散策をした。その中でも特に、花畑が印象に残っている(写真1)。その花畑には、マリーゴールドやヒガンバナと言った様々な色形の花が植えられていた。いわき駅周辺は建物が多く都会的な印象であったが、少し離れたこういった公園では自然を感じることができ、嬉しく思った。他にも、公園内に大きな橋があった。橋の周りには森が広がっており、少し離れたところに学校が見えた。距離的に、学

2 日目は、全員でアクアマリンふくしまに向かった。私は水族館に詳しいというわけではないが、2～3 か所の水族館を見たことがある。しかし、そのどれともアクアマリンふくしまは違っていた。まず順路通りに進むと、最初に縄文時代の自然や人々の暮らし、生物について記されたスポットがあった。私は、水族館というものは水槽があり、海洋生物が中心となっている場所と考えていたため、とても驚いた。このほかにも、新人時代の人類の頭蓋骨が飾ってあるスポットや、海水の放射性物質について記されたスポットがあった(写真 2)。今になって思うと、水族館というよりは水族館兼博物館のような印象を受けた。しかし、私のように自分から博物館に行かない人にとっては、歴史や自然について学ぶ、良い機会となった。生物だけを知るのではなく、その環境についても理解を深めることで、いわき市の自然は保たれていると感じた。



写真4 公園内の花畑

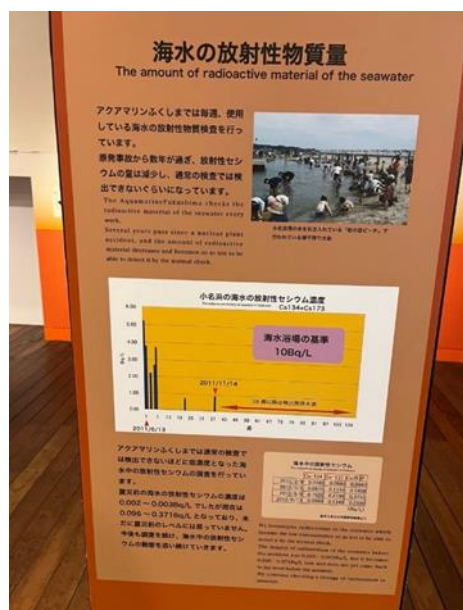


写真5 海水の放射性物質量についてのパネル